

施工方法 —ターフパーキング—

芝を張る方法と、芝を種子より育成する方法があります。



STEP 1. 路盤施工

路床の上に砕石を敷き詰め、十分に転圧します。砕石の厚さは一般車150～200mm・バスなどの重量車200～350mm厚としてください。（現場CBRによって異なります。）

※路盤排水は確実に実施して下さい。



STEP 2.

レベル調整（転圧）

砕石の上に川砂、洗い砂を投入・敷ならしプレートで転圧。仕上げ厚30mm（～50mm）になるようにレベル調整をしてください。



STEP 3.

ターフパーキング施工

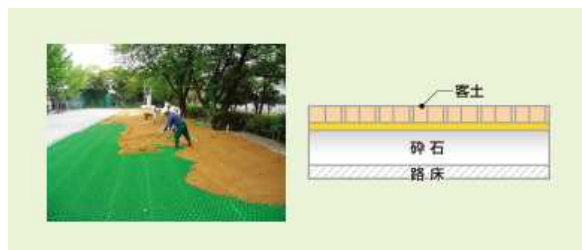
ターフパーキングをエッジ（端部）接合面がぴったり合うように敷き詰めます。切断加工が必要な電動丸鋸で切断してください。

※六角マーカはこの時点で差し込みしてください。土で汚れないように、ご注意ください。



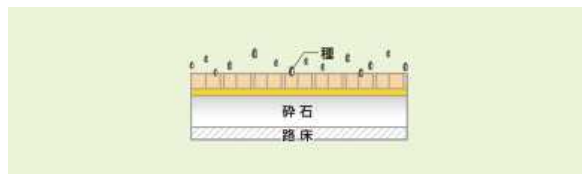
種子より育成する施工方法

STEP 4. 客土施工



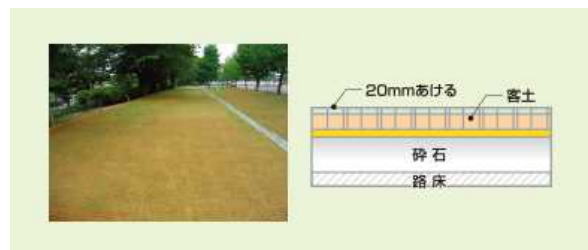
ターフパーキングの隙間に、ターフパーキング本体(50mm)内に良質の客土を入れます。パークストッパーを設置する場合は、客土を入れた後、付属の杭で打ち込み固定してください。

STEP 5. 芝生の種まき



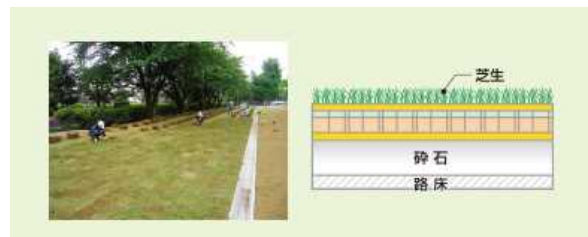
芝張り施工方法

STEP 4. 客土施工



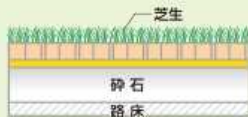
ターフパーキングの隙間に、半分程度(25mm)を目安に良質の客土を入れます。

STEP 5. 芝生の張り付け



客土に芝生の種を蒔き、種が隠れる程度に客土をかぶせ、軽く転圧します。転圧を行うことにより種を確実に客土に挿入することができます。

STEP 6. 完成



ターフパーキング上面に芝生を敷き詰めてください。目地を開けずに100%張りとしてください。

STEP 6. 転圧作業・完成



芝生張り付け完了後、ローラー転圧作業（3～5回）を行います。この際、散水しながら行くと、よりスムーズに作業ができます。

パークストッパーを設置する場合は、芝転圧完了後に施工してください。

※ローラーは、4t振動ローラーがより効果的です。

芝生が完成したら、定期的に芝刈り機などで剪定し、適度に散水してください。年3回程度、化学肥料や配合肥料、または専用肥料を散布してください。